

# Business Report

## 第100期 株主通信

2023年4月1日から  
2024年3月31日まで

### 株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より大同特殊鋼および大同特殊鋼グループ各社をご支援いただきまして、誠にありがとうございます。心より厚く御礼申しあげます。

ここに、第100期（2023年4月1日から2024年3月31日まで）における事業概況についてご報告申しあげます。

2024年6月

代表取締役社長 **清水哲也**



**大同特殊鋼株式会社**

証券コード 5471

(注) 本株主通信に記載した連結業績は日本基準に基づいております。国際財務報告基準（IFRS）を適用した2024年3月期の連結業績は「2024年3月期決算短信（IFRS）（連結）」をご参照ください。  
[https://www.daido.co.jp/common/pdf/pages/ir/library/result/2403\\_4q\\_ifrs.pdf](https://www.daido.co.jp/common/pdf/pages/ir/library/result/2403_4q_ifrs.pdf)

### 決算概況

2023年度の連結営業利益は、前期比48億72百万円減益の421億13百万円となりました。主要需要先である自動車関連の特殊鋼の受注は、半導体供給制約の緩和により増加したものの、国内自動車サプライチェーンの混乱等によって、構造用鋼を中心に需要が減っているほか、産業機械関連においても、ステンレス鋼などの需要はサプライチェーン内在庫調整等の影響で回復が遅れていますが、航空機やエネルギー産業向けの自由鍛造品の受注は拡大しました。鉄スクラップ価格は高位で推移し、原油・LNG市況の高騰によりエネルギーコストが上昇しましたが、コスト削減と販売価格への反映により適正マージンの確保に努めてまいりました。

これらの結果、2023年度の連結営業利益は、2022年度に引き続き、2023中期経営計画で掲げた「営業利益400億円以上」の目標を上回ることができました。

### 経営環境および今後の取り組み

2024年度は、主要需要先である自動車関連の需要は、部品供給不足の緩和後、実需に見合った水準に落ち着く見込みです。産業機械関連は2024年度後半に向けて緩やかな回復が期待され、半導体関連需要はシリコンサイクルの上昇局面を見極める必要があります。

ポートフォリオ改革については、エネルギー関係、航空機関係を中心とした需要増が見込まれる自由鍛造品や中長期的な成長が予想される半導体関連製品の需要に対応する設備投資を行うことで高付加価値製品へのシフトを加速させ、持続的な利益成長を図ります。

### 期末配当

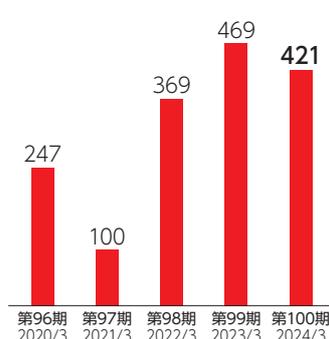
期末配当は通期業績と今後必要な設備投資などを総合的に勘案し、1株あたり26円と決定させていただきました。なお、当社は2024年1月1日に普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っており、株式分割後の株式数で換算すると、中間配当と合わせた年間配当は1株あたり46円となります。

### 連結業績

売上高（億円）



営業利益（億円）



経常利益（億円）



親会社株主に帰属する当期純利益（億円）



## 事業別の概況

### 特殊鋼鋼材



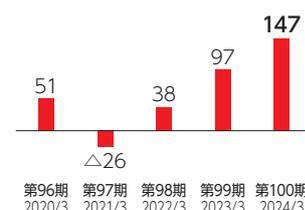
構造用鋼、軸受鋼、金型用の工具鋼など、主に自動車、産業機械分野で使用される屈強な素材の製造・販売をはじめ、原料、資材の調達、物流管理、流通に至るまで幅広い事業を展開しています。

売上高構成比  
37.6%

#### 売上高 (億円)



#### 営業利益 (億円)



### 機能材料・磁性材料



ステンレス鋼、高合金、合金粉末、チタン、磁石製品、ターゲット材、ネジ・ボルトなど優れた機能を発揮する材料の開発、製造、販売を手がけています。

売上高構成比  
34.9%

#### 売上高 (億円)



#### 営業利益 (億円)



### 自動車部品・産業機械部品



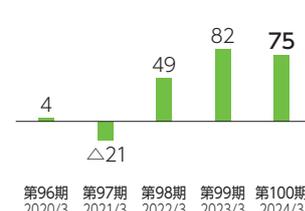
自動車部品・ベアリング向けの型鍛造品、エンジンバルブやターボ関連製品を主力とする精密鍛造品、発電機、大型輸送機、プラント向けの自由鍛造品、鋳鋼品を製造・販売しています。

売上高構成比  
18.2%

#### 売上高 (億円)



#### 営業利益 (億円)



### エンジニアリング



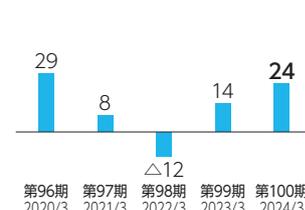
特殊鋼製造で培ったノウハウと技術を活かし、鉄鋼設備、工業炉、環境設備、各種機械の設計から施工、メンテナンスまで行っています。

売上高構成比  
4.0%

#### 売上高 (億円)



#### 営業利益 (億円)



### 流通・サービス



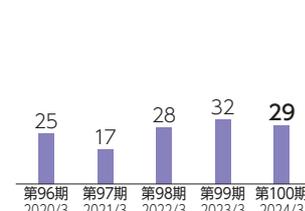
不動産事業、福利厚生、保険の取扱い、ゴルフ場経営、鉄鋼・セラミックス等の分析、情報システムの販売など多岐にわたる事業を展開しています。

売上高構成比  
5.3%

#### 売上高 (億円)



#### 営業利益 (億円)



## トピックス

### 半導体向けなど成長分野への戦略投資を推進

当社は、航空機エンジンなどに使われる高合金や、半導体製造装置向け高機能ステンレス鋼、医療用のチタン製品など、今後成長が見込まれるビジネス分野に戦略的に設備投資を実行していきます。

知多第2工場(愛知県知多市)に、高合金・高機能ステンレス鋼用の真空アーク再溶解炉(VAR)2基と、チタン用のVARを2基設置するほか、星崎工場(名古屋市南区)では高合金やチタン製品などの難加工線材の競争力を向上するために圧延ラインを増強します。

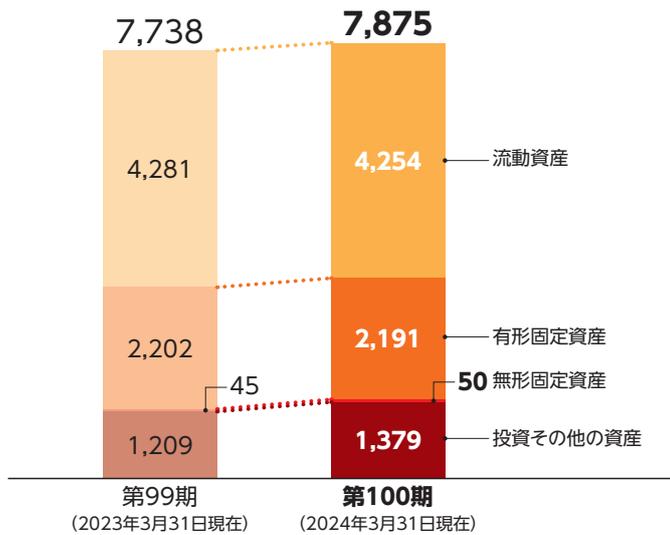
当社は戦略投資により成長分野向け製品の製造体制を確立し、需要を捕捉していきます。



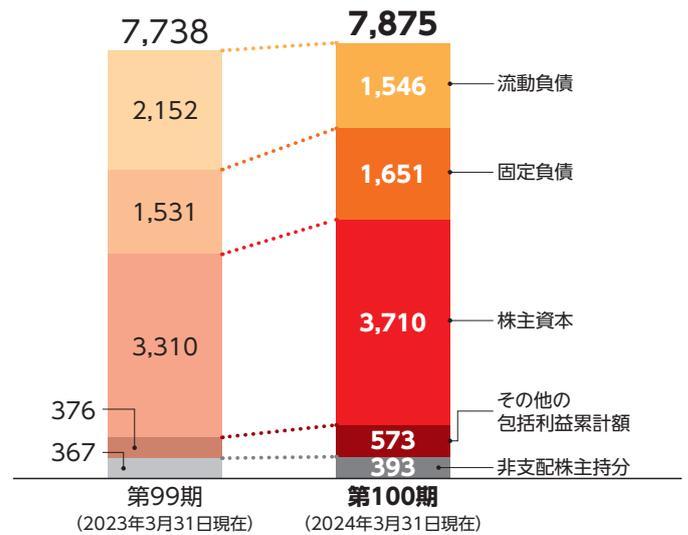
真空アーク再溶解炉 (VAR)

財務の状況

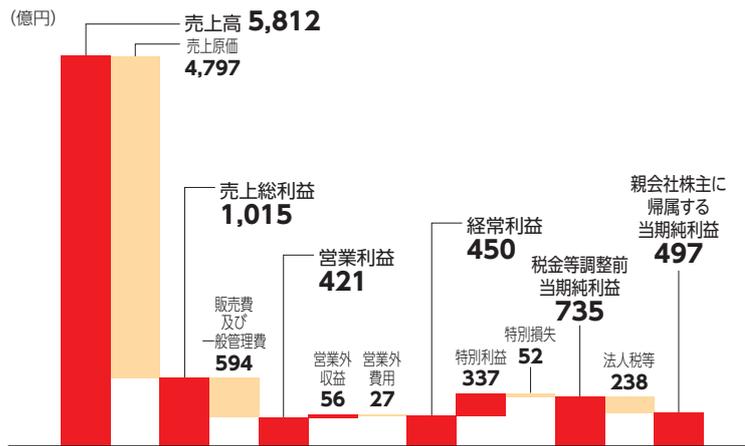
資産の部 (億円)



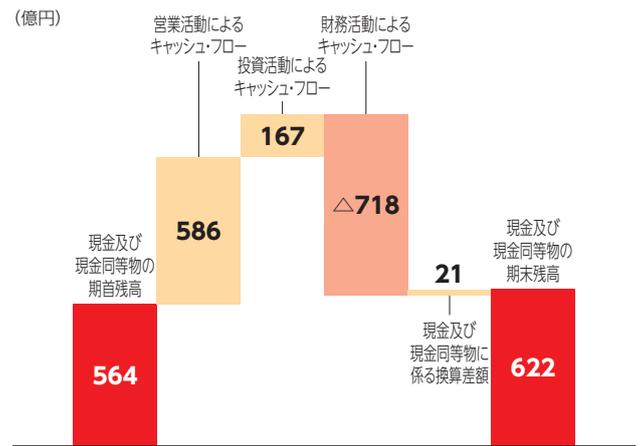
負債・純資産の部 (億円)



損益の状況 2023年4月1日～2024年3月31日



キャッシュ・フローの状況 2023年4月1日～2024年3月31日



※金額は、億円未満を切り捨てて表示しています。

ESGの取り組みが評価され外部から各種認定を取得

当社はFTSE Russell社が提供するESGに主眼を置いた指数[FTSE Blossom Japan Sector Relative Index]の構成銘柄に初めて選定されました。投資家の重要な判断基準として活用されている本指数の構成銘柄への選定は、これまでのESGの取り組みが評価されたものと認識しています。

また、社員とその家族の幸せの原点である健康を支える健康経営の推進により、経済産業省および東京証券取引所が選定する「健康経営銘柄2024」に認定されました。この認定は原則1業種につき1社で、当社が認定されるのは3年ぶり2度目です。加えて、経済産業省と日本健康会議が実施する健康経営優良法人認定制度において、当社は7年連続で「健康経営優良法人」に認定され、3年ぶりに上位500法人が認定される「ホワイト500」に認定されました。



健康経営銘柄2024の匾

## 会社・株式情報

### 会社概要 2024年3月31日現在

社名	大同特殊鋼株式会社
英文社名	Daido Steel Co., Ltd.
本社所在地	〒461-8581 名古屋市東区東桜一丁目1番10号 アーバンネット名古屋ビル
創業	1916年8月19日
設立	1950年2月1日
資本金	371億7,246万4,289円
従業員数	11,941名(連結) 3,273名(単独)

### 取締役 2024年6月26日現在

代表取締役会長	石 黒 武
代表取締役社長	清 水 哲 也
代表取締役副社長	山 下 敏 明
取締役	梶 田 聡 仁
取締役	岩 田 龍 司
取締役	鹿 嶋 忠 幸
取締役(社外/独立役員)	平 光 範 之
取締役(社外/独立役員)	山 本 良 一
取締役(社外/独立役員)	神 保 睦 子
取締役常勤監査等委員	志 村 進
取締役常勤監査等委員(社外/独立役員)	小 野 竜 一 郎
取締役監査等委員(社外/独立役員)	松 尾 憲 治

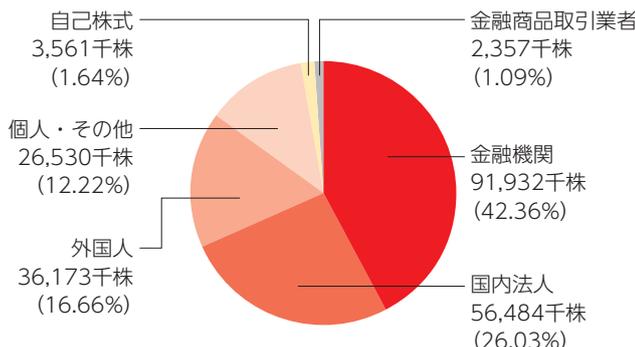
### 株式の状況 2024年3月31日現在

発行可能株式総数	580,000,000株
発行済株式の総数	217,243,845株 (自己株式 3,561,790株を含む。)
株主数	22,939名

### 大株主(上位10名) 2024年3月31日現在

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	21,982	10.28
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	15,567	7.28
日本製鉄株式会社	15,504	7.25
明治安田生命保険相互会社	10,379	4.85
株式会社みずほ銀行	7,886	3.69
日本発條株式会社	7,248	3.39
本田技研工業株式会社	6,526	3.05
株式会社三菱UFJ銀行	6,071	2.84
トヨタ自動車株式会社	4,345	2.03
日鉄興和不動産株式会社	3,747	1.75

### 所有者別株式分布状況 2024年3月31日現在



## 株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
公告の方法	その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。 当社のホームページに掲載いたします。 ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL <a href="https://www.daido.co.jp/koukoku.html">https://www.daido.co.jp/koukoku.html</a>
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-782-031
同取次窓口	三井住友信託銀行株式会社 全国本支店
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場 名古屋証券取引所 プレミア市場

### 未払配当金の支払いに関するお申出先

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設された株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

### 配当金受取方法のお取扱いについて

従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主様の保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社等の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問合せください。



### Webサイトのご案内

当社は、インターネット上にホームページを開設し、企業情報提供による知名度・理解度向上、社外との情報交換を促進するとともに、調達・販売・技術のグローバルなコミュニケーションの場として、さまざまな情報をご案内しております。



<https://www.daido.co.jp/>

